

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ



- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

創立 1967年12月26日

- 会長 橋本 正幸
- 幹事 佐藤 多加志
- 会報委員長 森岡 信晶

大東ロータリー会長テーマ

「半世紀“2067”への架け橋
奉仕の継承と変革」

2017年～2018年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす

第2660地区ガバナー方針
「個性を活かし、参加しよう」

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

片山 勉

平成29年10月24日 No.2398 H29.10.17 (No.2397の例会記録)

今週の予定 (10月24日)

「 裁判・訴訟の雑学 」
間 紀夫 会員

次週の予定 (10月31日)

「 」
山田 伸 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月17日分)

会員数 40名 出席数 33名 欠席者6名
特定免除 1名 その他免除 0名
出席率 86.62%

前々回10月3日分

ホームクラブの出席者21名 67.20%
メイクアップの結果 32名
特定免除8名 その他免除 0名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

お知らせ

- ・10/28 周年 記念事業
三好長慶公銅像建立 除幕式
大東市役所本庁前 午前10時～
- ・11/5 インターアクト 年次大会 午前10時～
- ・11/7 夜間例会 午後6時～
- ・11/10 弁論大会 午後2時～
- ・11/10 地区大会 オープニング 分科I、II 午後3時～
- ・11/11 地区大会 本会議 午後1時～
- ・11/22 第2回 大東RC ゴルフコンペ
- ・11/29 会長幹事会 午後3時～



ニコニコ箱

後面に記載

今期累計	642,000円
年間予算	2,000,000円
達成率	32.10%

会長の時間

本日は、片山ガバナーをお迎えしての例会です。後程、卓話を行って頂きます。宜しく願申し上げます。

大東市内では、10月のこの時期に五穀豊穡を祈願する「秋まつり」が各地で行われ、だんじりが地域を練り歩きます。だんじりと言えば、よく岸和田をイメージさせますが、北河内では岸和田のように走ることはしません。境内などで前後の部分を持ち上げて、だんじりを回転させる曳き回し（やり回し）を行います。



地車を大人から子どもまで一同を介して綱を引き、地域を歩く姿は秋の風物詩となっています。地車の曳行を終えて、宮入を行い境内に氏子が集まった際には、先輩から昔の武勇伝を聞いたり、子どもが太鼓をたたき姿をビデオに収めたり、配られる飲み物をもって走る子どもがいたり、酒を酌み交わしながら微笑ましい光景が伺えます。

15日は、野崎駅前（四条ふるさと祭）住道駅前（住道祭）南郷公園（南郷祭り）が行われますが、残念ながら雨で、中止となってしまいました。

今月は、「米山月間」です

米山奨学生は、世界理解、国際親善を通じて世界平和を達成するために、外国の若者を日本での留学を支援する奉仕活動です。今年度は、地区の方針により受け入れができなかったようです。

最近クラブでは、ネパールから二人の奨学生を受け入れました。4年前のシュリスタ・リエさんを支援した際には、海外での奉仕活動を検討した時にリエさんを通して小学校に水の浄化装置の設置を、地区補助金を申請し実施する事としました。

ネパールに現地調査を行い、過酷な水事情、十分で無いインフラなどを目の当たりにして、現在も奉仕活動を続けています。

このきっかけとなったのは、米山奨学生からです。留学を支援する奉仕活動から、ネパールの地域発展への奉仕活動となりました。この事業に協力をして頂いた現地ネパールのカトマンズ西RCとは、50周年を機に友好クラブの締結を行う事となりました。

米山奨学生シュリスタ・リエさんが居なければ、ネパールへの援助は行われていませんし、カトマンズ西RCとの友好クラブの締結も無かったでしょう。このように、一つの奉仕活動がきっかけとなり、次の奉仕活動となり、ロータリアンの友好関係が広がることに、ロータリーの魅力を感じます。

委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

- ・結婚記念日 自祝
- ・結婚記念日 自祝
- ・結婚記念日 自祝
- ・入会記念日 自祝
- ・入会記念日 自祝

・ガバナー訪問 大変忙しいなか、卓話を宜しくお願い致します

- ・東村委員長 贈呈式おつかれさまでした！！
- ・片山ガバナーようこそお越しくございました
- ・親睦会欠席 (秋の家族会) お詫び
- ・親睦会欠席 (秋の家族会) お詫び
- ・秋祭 雨の中 ダンジリ無事に曳行しました 氏子の皆様ありがとうございます

・片山ガバナー 50周年記念式典ご出席快諾頂き、ありがとうございます

50周年実行委員長

- ・連休中に奥志賀高原に行って来ました 山はすでに紅葉でした
リフレッシュして来ました 親睦会欠席 (秋の家族会) お詫び
- ・追われていた仕事がひとつ片付きました 感謝
- ・樋口先輩写真ありがとうございました 感謝
- ・小川さんありがとうございました 感謝
- ・松原さん森岡さんお世話になりありがとうございます

親睦会欠席 (秋の家族会) お詫び

・ゴルフ優勝 自祝 中野隆君ありがとう

・大東委員長秋の家族会欠席申し訳ございません

中野隆二委員、谷中委員 お世話になりました！！

西山 潤一 委員長

樋口 秀和 君

大東 弘 君

岡井 康弘 君

上田 正義 君

森岡 信晶 君

橋本 正幸 君

佐藤 多加志君

中嶋 啓文 君

池田 實 君

木田 眞敏 君

大西 寛治 君

藤本 和俊 君

福富 経昌 君

木村 克己 君

空門 満也 君

柿木 篤 君

西山 潤一 君

谷中 宗貴 君

森田 武雄 君

2017～2018年度

社会奉仕委員会 情報集会のお知らせ

情報集会を下記の通り開催いたします。

ご出席の程お願い申し上げます。

日 時 2017年11月7日 (火)

夜間例会 18:00～ (例会後より情報集会)

場 所 まんま家

会 費 3,000円

「 片山 勉ガバナー公式訪問 」



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー
片山 勉 氏

2017-18年度 国際ロータリー会長 イアン・ライズリー氏が掲げるR Iテーマ
「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」
ロータリー：変化をもたらす

「世界には120万人の会員がおり、その一人一人が独自の目標と優先を掲げ、独自の解釈でロータリーを理解しています。ロータリーにとって重要なことは、「どのような団体か」ではなく「何をしているか」です。過去112年間に、ロータリーは徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら大きく変わってきましたが、根底にあるものは変わりません。それは、奉仕を通じて地域社会と世界に変化をもたらしたいという願いであり、ロータリーはそれを実現できる人が集まった組織であるということです。

ロータリアンは、どのような奉仕の方法を選んでも、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことができます。各ロータリークラブが、それぞれ独自の奉仕の方法を選択することが重要であり、それが今年度のテーマです。」

R I 第2660地区ガバナー方針

ガバナー方針は、このR I会長テーマをうけて『個性を活かし、参加しよう』と決めました。これはロータリーの基本理念と奉仕活動の充実と実践を表しています。

具体的目標

- ①基本理念と奉仕活動の実践
- ②戦略計画（将来構想）の推進
- ③公益財団法人ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年

④ポリオ撲滅

⑤公共イメージ向上

ロータリーの基本理念である「奉仕の理念」の根幹は、親睦と職業奉仕です。ロータリーはリーダーシップと人材育成の場であり、若い世代には人生が変わる機会であり、中堅世代には自己啓発の機会、年長世代には次の世代に伝える機会があるでしょう。

そして、ロータリーの奉仕活動は、年齢・性別・職業を異にする多様な会員が、各自の特性に応じて参加することに意味があります。例えば、若い世代は行動力、テクノロジー、情報力を活かし、中堅世代は知識、企画力、熱意を活かし、年長世代は経験、人脈、資金、時間を活かして、それぞれロータリーの奉仕活動に参加することができます。各ロータリークラブは、「魅力ある・元気のある・個性のある」クラブを目指して戦略計画（将来構想）を立案・推進してください。

また、地域の特性やニーズに応じた奉仕活動を重点的に継続し、進化させ、ロータリーとは何か、何をしている団体なのかを地域社会に理解してもらうよう努めて下さい。

今年度 R I 会長がロータリーの奉仕活動について繰り返し述べていることは「成果の見える化」と「成果の持続可能性」です。

ロータリアン・ロータリークラブの特性（個性）に応じた奉仕活動を行ううえで、この2点を考慮し、必要な手段と手続きをロータリーの主権者であるクラブが自主的に判断し、自らの責任において行動することです。

年次寄付年間目標

①ロータリー財団	年次寄付	1名あたり	\$ 150. -
②ポリオ撲滅		1名あたり	\$ 50. -
③ベネファクター		各クラブ	1名
④米山		1名あたり	30,000. 円
⑤会員増強		各クラブ	純増2名
⑥マイロータリー登録率		50% 以上	

ロータリアン・クラブが光り輝き、皆様のご活躍が心にのこる一年になりますことを願います。





Rotary International District 2660
Service Above Self - One Profits Most Who Serves Best

2017年10月17日

大東ロータリークラブ
会長 橋本 正幸 様
幹事 佐藤 多加志 様

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 片山 勉

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は地区ロータリー活動にご尽力ご協力を賜りまして、深謝致しております。

さて、本日の公式訪問に際しましては、格別のご高配にあずかりましたこと、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。心温まるお出迎えに心から感謝申し上げます。

今年度テーマは「ROTARY : MAKING A DIFFERENCEーロータリー：変化をもたらす」です。そして地区ガバナースローガンを「個性を活かし、参加しよう」と致しました。

ロータリーの理念のもと、「魅力のある・元気のある・個性のあるクラブ」を実現し、充実感・感動・誇りを得、「楽しく、人の役に立つロータリーライフ」を送ることが出来るよう、私も地区委員会と一致団結しながら、クラブを支援するという役務を全うしたいと考えております。

一層のご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴クラブのますますのご発展と、会員の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしております。

敬具

10月17日（火）ガバナー公式訪問され、卓話をして頂きました片山 勉ガバナーよりお礼状が届いております。掲載させて頂きました。



Ian H. S. Riseley
President, 2017-18

T +1 847 866 3467
F +1 847 866 3390
ian.riseley@rotary.org

2017年8月17日

大東ロータリークラブ会員の皆さま

50周年を迎えられた大東ロータリークラブの皆さまに、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり地域社会に尽くしてこられた貴クラブに、心からの賛辞を贈ります。

世界 35,000 クラブの 120 万人の会員が、ロータリーファミリーを成しています。地理的な距離または文化や言語の違いこそあれ、私たちは奉仕への献身という共通の絆で結びついています。私たちロータリアンを突き動かしているのは、地元や海外の町をより良くし、超私の奉仕を实践することへの熱意です。貴クラブのように活発なクラブのおかげで、ロータリーは多くの変化を世界にもたらすことができます。

ロータリーファミリーを代表し、50年間の親睦と奉仕、そして素晴らしい功績に心から敬意を表します。今後も「ロータリー:変化をもたらす」の精神で、貴クラブがますます発展し、活躍していかれることを祈っております。

心を込めて



2017-18 年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

国際ロータリーより 2017 - 18 年度国際ロータリー会長イアン H.S.ライズリー氏の署名入り 50周年へのお祝い文が届いておりますので掲載させて頂きました。

◇ 第 12 回 大東市小中学生弁論大会のご案内 ◇

大東市教育委員会課長 新井 雅也様が、第 12 回大東市小中学生弁論大会の案内と協賛へのお礼を述べられ、協賛金の贈呈が行われました。

<大東市小中学生弁論大会>

日 時 11月10日(金) 午後2時~4時40分
場 所 サーティホール (大ホール)
内 容 テーマ「心をことばに ~伝えたい気持ち~」



大東RC創立50周年 第8回実行委員会 開催

平成29年10月17日（火）例会終了後、大東RC創立50周年 第8回実行委員会が開催されました。

次回 第9回は10月24日（火）例会終了後の開催です。



「ダメ！絶対！タバコ！」若年層向け薬物乱用防止活動に対する啓蒙教材 贈呈式

10月10日（火）、2017-18年度社会奉仕 創立50周年記念事業として、「ダメ！絶対！タバコ！」若年層向け薬物乱用防止活動に対する啓蒙活動教材の贈呈式並びに感謝状の贈呈式が大東市役所内にて執り行われました。

以前より、覚せい剤など薬物乱用による犯罪が社会問題となっており、特に若年層は危険薬物に手を出す入口として喫煙が大きく影響していることが知られております。一人でも多くの子供たちの救いとなれば幸いです。

